

# 岩手県立磐井病院の運営

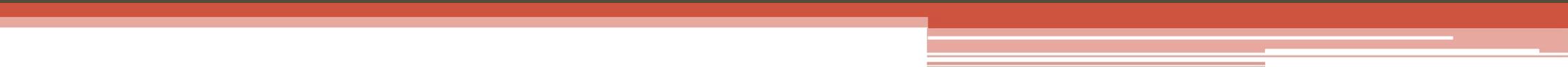
R6. 1.18

岩手県立磐井病院 院長 佐藤耕一郎



岩手県立磐井病院

# 1 : 岩手県立磐井病院の概要



# 【1】入院と外来患者について



## 今年度の入院患者数

累計	5年11月	4年11月	比較	率	1日平均患者数		
	244日	244日			当月	前年同月	比較
合計	55,522	52,847	2,675	5.1	228	217	11
					1年度累計	245人	▲ 17人

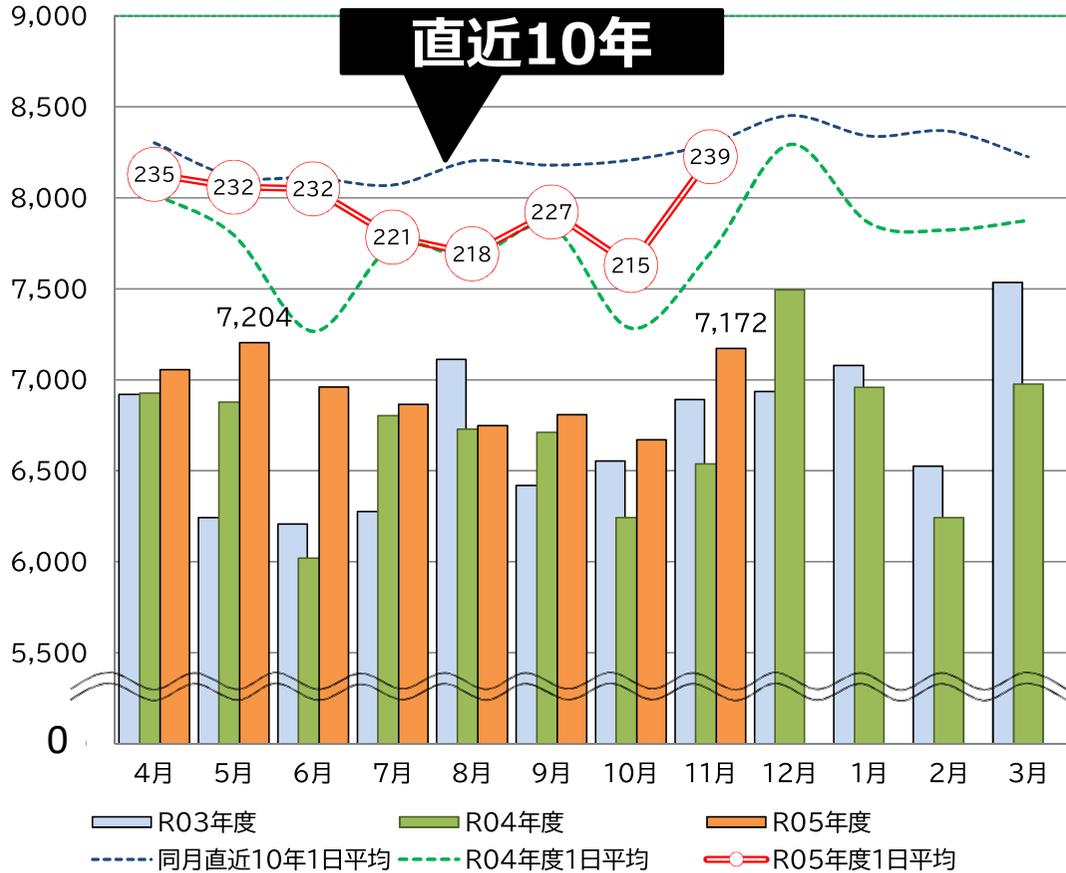
## 今年度の外来患者数

累計	5年11月	4年11月	比較	率	1日平均患者数		
	165日	163日			当月	前年同月	比較
合計	79,280	77,616	1,664	2.1	480	476	4
					1年度累計	525人	▲ 45人

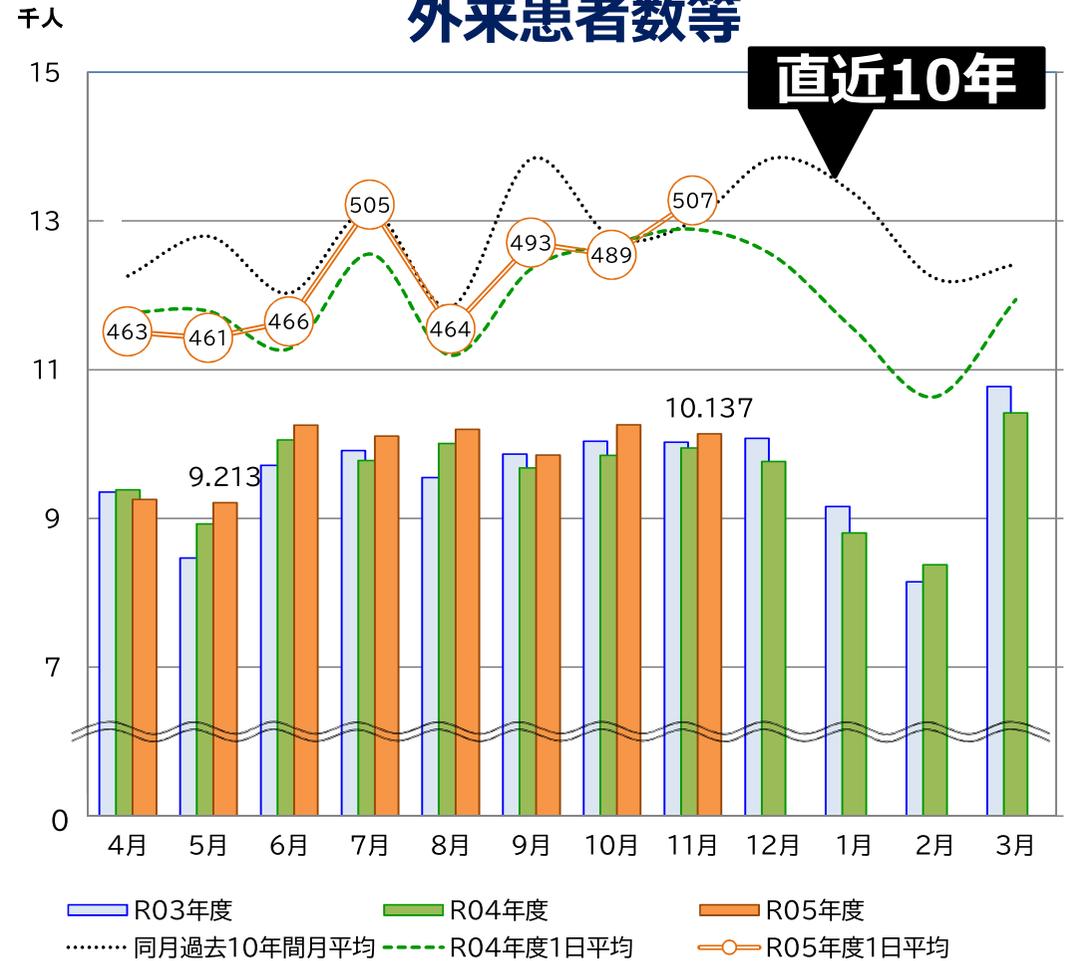
入院・外来とも昨年度よりは増えていますが、コロナ前よりは少ないです

# 入院・外来患者数の3年間の推移

## 入院患者の推移

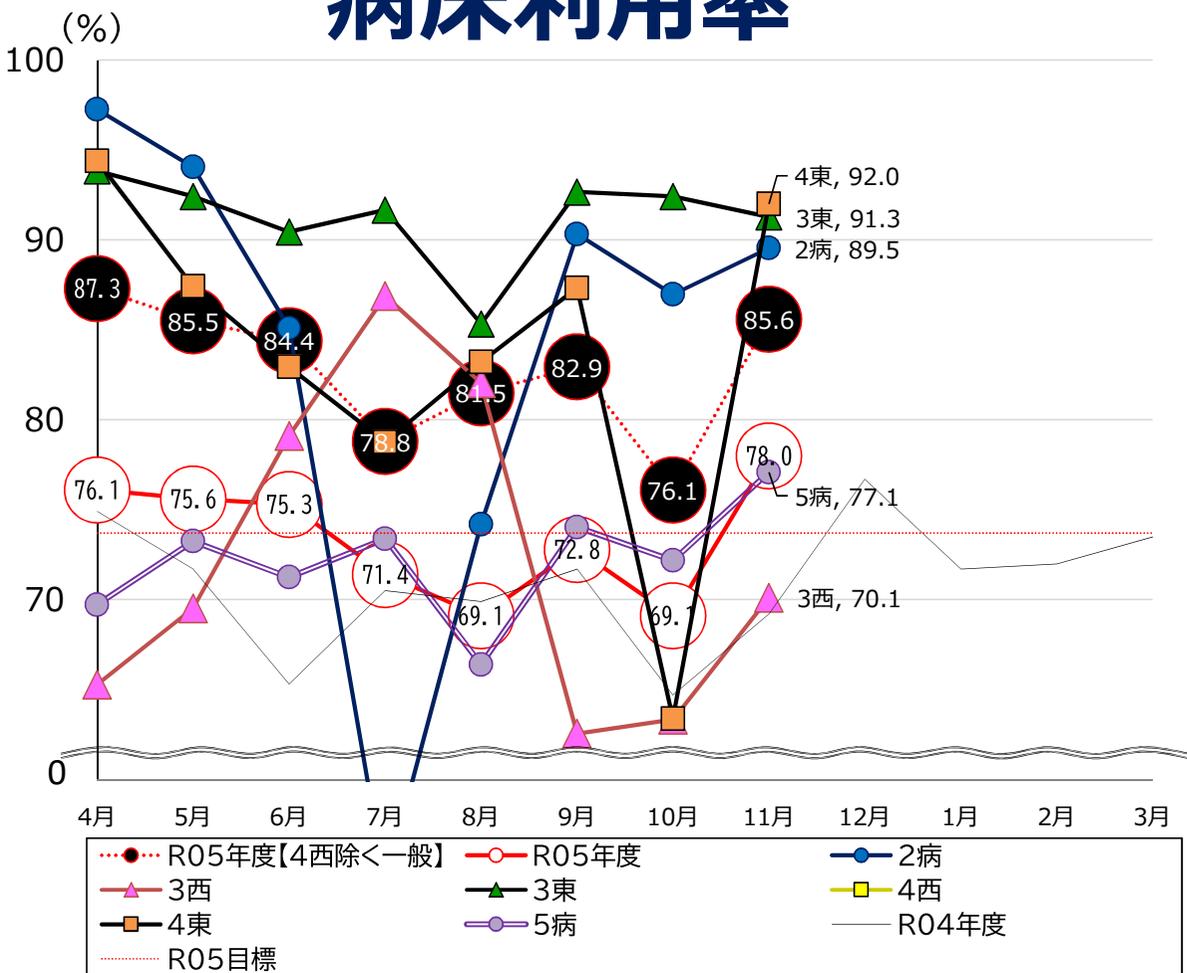


## 外来患者数等

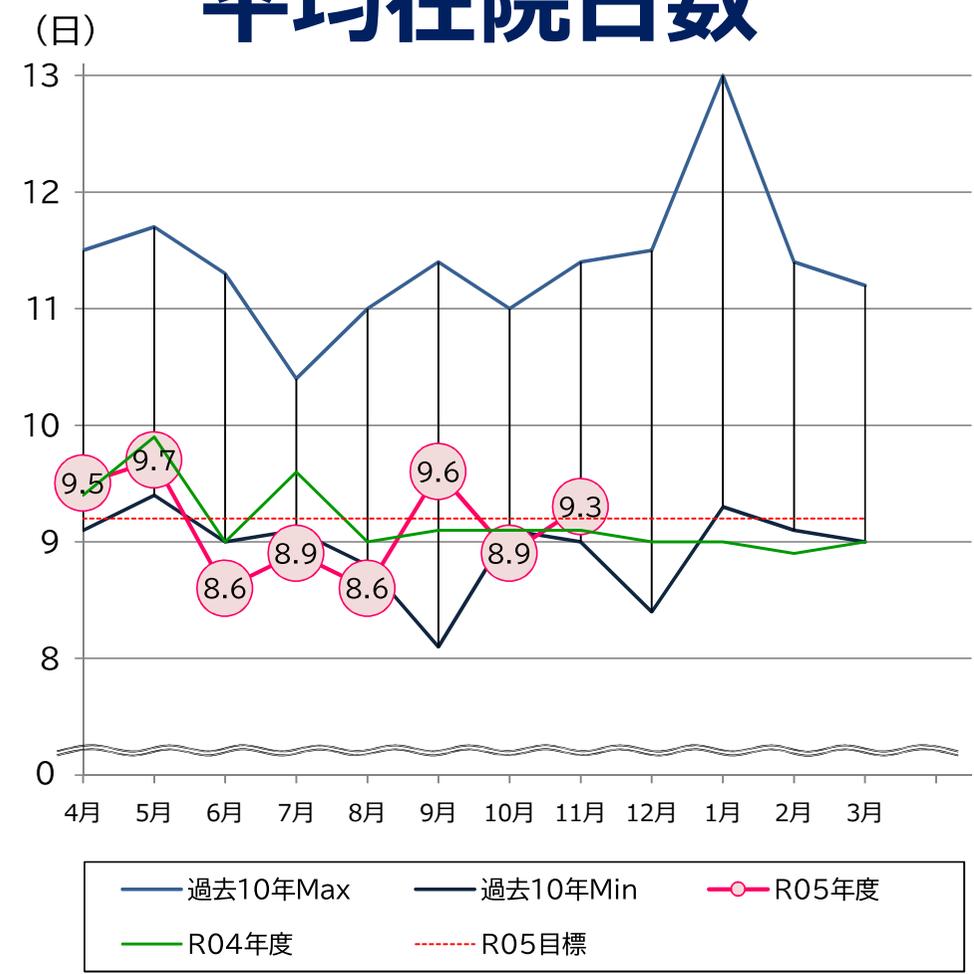


**コロナ過のこの3年間では増加ですが、直近10年間の平均よりは下回っています**

# 病床利用率



# 平均在院日数



**一般病床利用率 72.2%(累計)(昨年より3.8%改善)**  
**緩和、コロナ病床を除く病床利用率 83.3%(累計)**

**平均在院日数：9.1日 (累計)**

## 【2】収支



## 入院収益

区 分	令和5年度累計			前年度比較増減	
	金 額 (千円)	構成比 (%)	費用 医収(%)	金 額 (千円)	増減率 (%)
(1) 入院収益	3,716,466	60.9	—	362,209	10.8

1年度同月累計 3,301,095千円

415,371 千円

## 外来収益

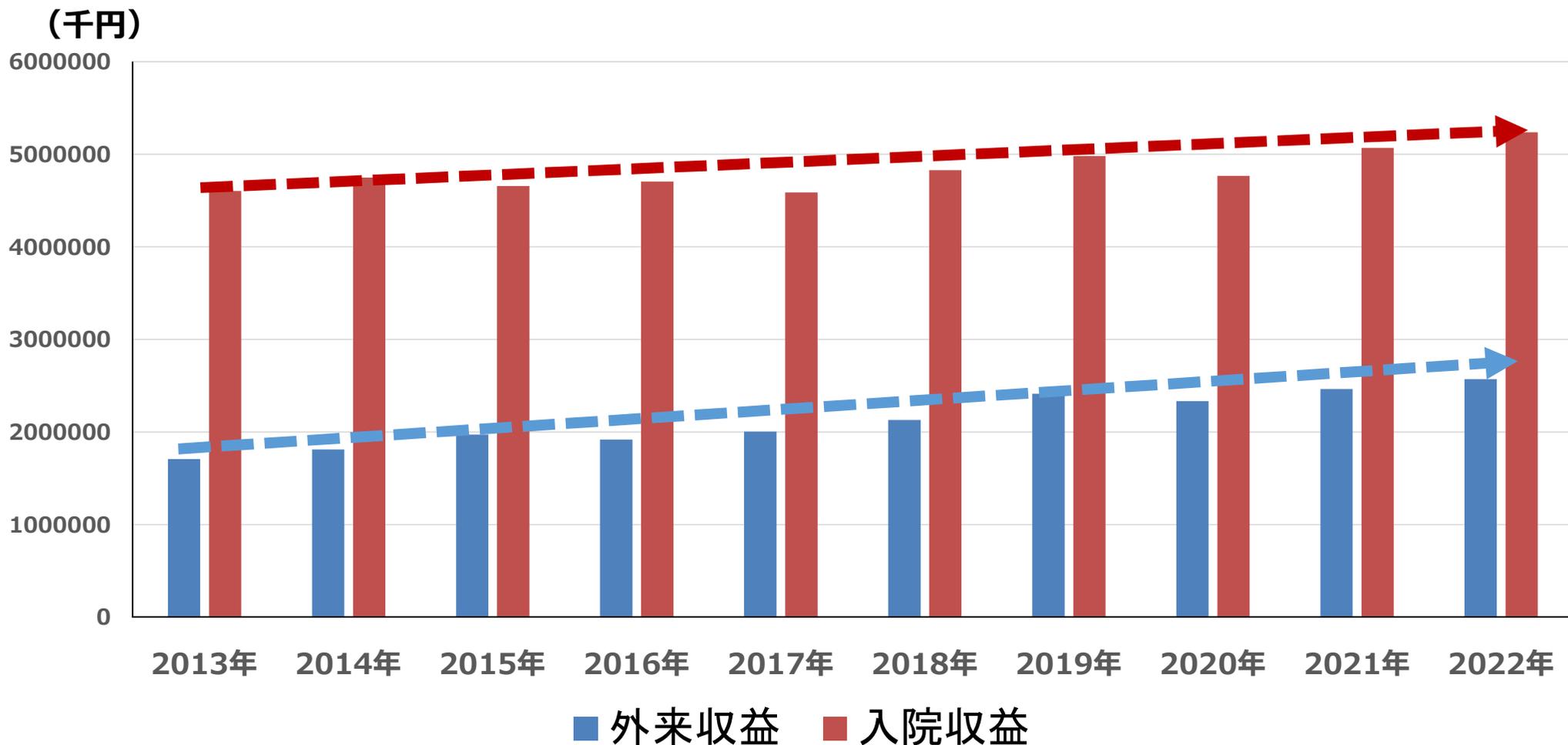
区 分	令和5年度累計			前年度比較増減	
	金 額 (千円)	構成比 (%)	費用 医収(%)	金 額 (千円)	増減率 (%)
(2) 外来収益	1,771,636	29.0	—	41,935	2.4

1年度同月累計 1,612,902千円

158,734 千円

**入院・外来収益ともR1、4年度より増加しています**

# 最近10年間の収益



**入院・外来収益ともに増加傾向です**

# R4年度の経常損益

経常損益の増減

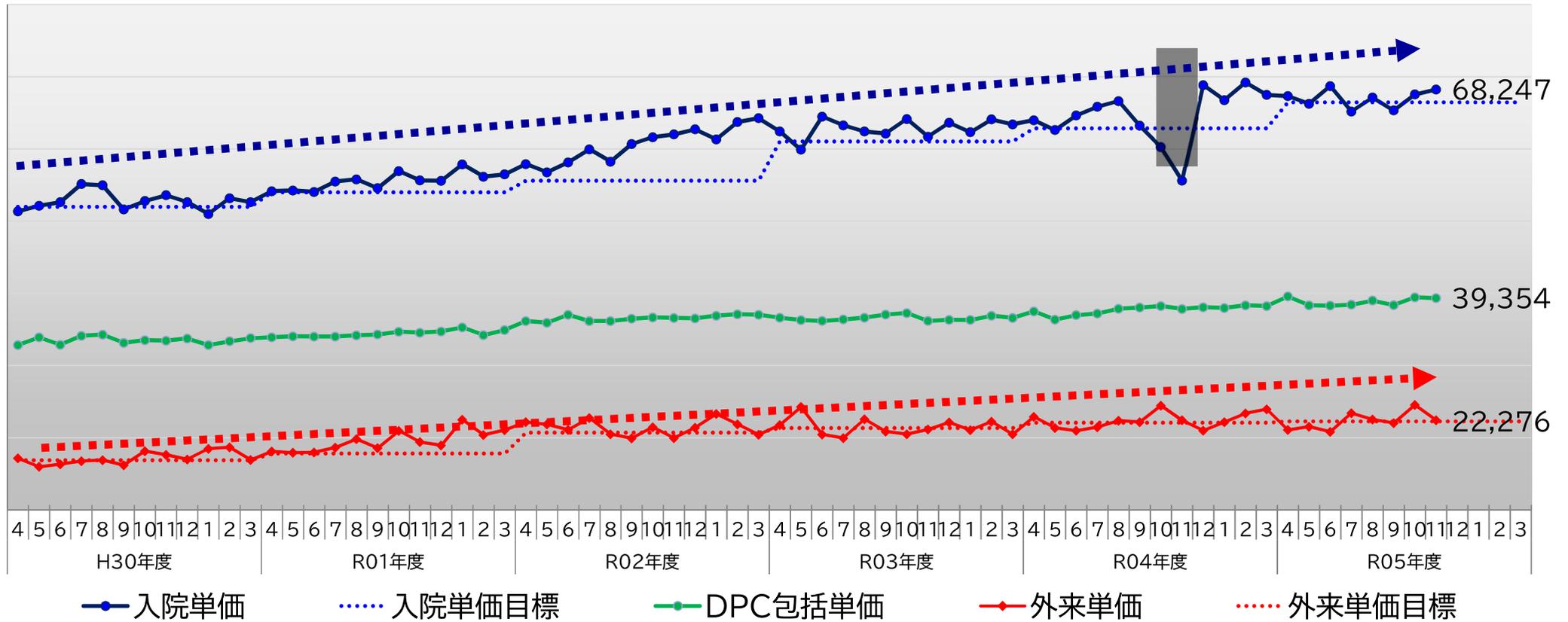
(単位:百万円)

	R5計画	R4決算(税込)		R3決算(税込)		R2決算(税込)		R元決算(税込)		
	経常損益 A	経常損益 B	増減 (A-B)	経常損益 C	増減 (A-C)	経常損益 D	増減 (A-D)	経常損益 E	増減 (A-E)	
基幹病院	中央	622	980	(△358)	1,110	(△488)	994	(△372)	1,936	(△1,314)
	大船渡	△ 874	△ 238	(△636)	△ 592	(△282)	△ 531	(△343)	△ 251	(△623)
	釜石	△ 724	△ 225	(△499)	△ 388	(△336)	△ 417	(△307)	△ 250	(△474)
	宮古	△ 537	222	(△759)	152	(△689)	282	(△819)	212	(△749)
	胆沢	403	561	(△158)	662	(△259)	731	(△328)	640	(△237)
	磐井	338	1,080	(△742)	1,124	(△786)	696	(△358)	160	(178)
	久慈	△ 510	△ 89	(△421)	△ 29	(△481)	△ 190	(△320)	△ 246	(△264)
	中部	908	1,702	(△794)	1,909	(△1,001)	1,656	(△748)	782	(126)
	二戸	△ 300	△ 171	(△129)	△ 63	(△237)	△ 340	(40)	△ 575	(275)

R4年度の経常損益は10億8000万円の黒字で基幹病院で2位

# 最近6年間の入院外来単価

(円)



**外来・入院単価ともに増加傾向（これが収益増加の要因）**

# 収支

区 分	令和5年度累計			前年度比較増減	
	金 額 (千円)	構成比 (%)	費用 医収 (%)	金 額 (千円)	増減率 (%)
差引損益	△ 28,251	—	—	160,103	85.0
経常損益	△ 28,251	—	—	160,103	85.0

令和1年度同月累計 ▲129,054千円

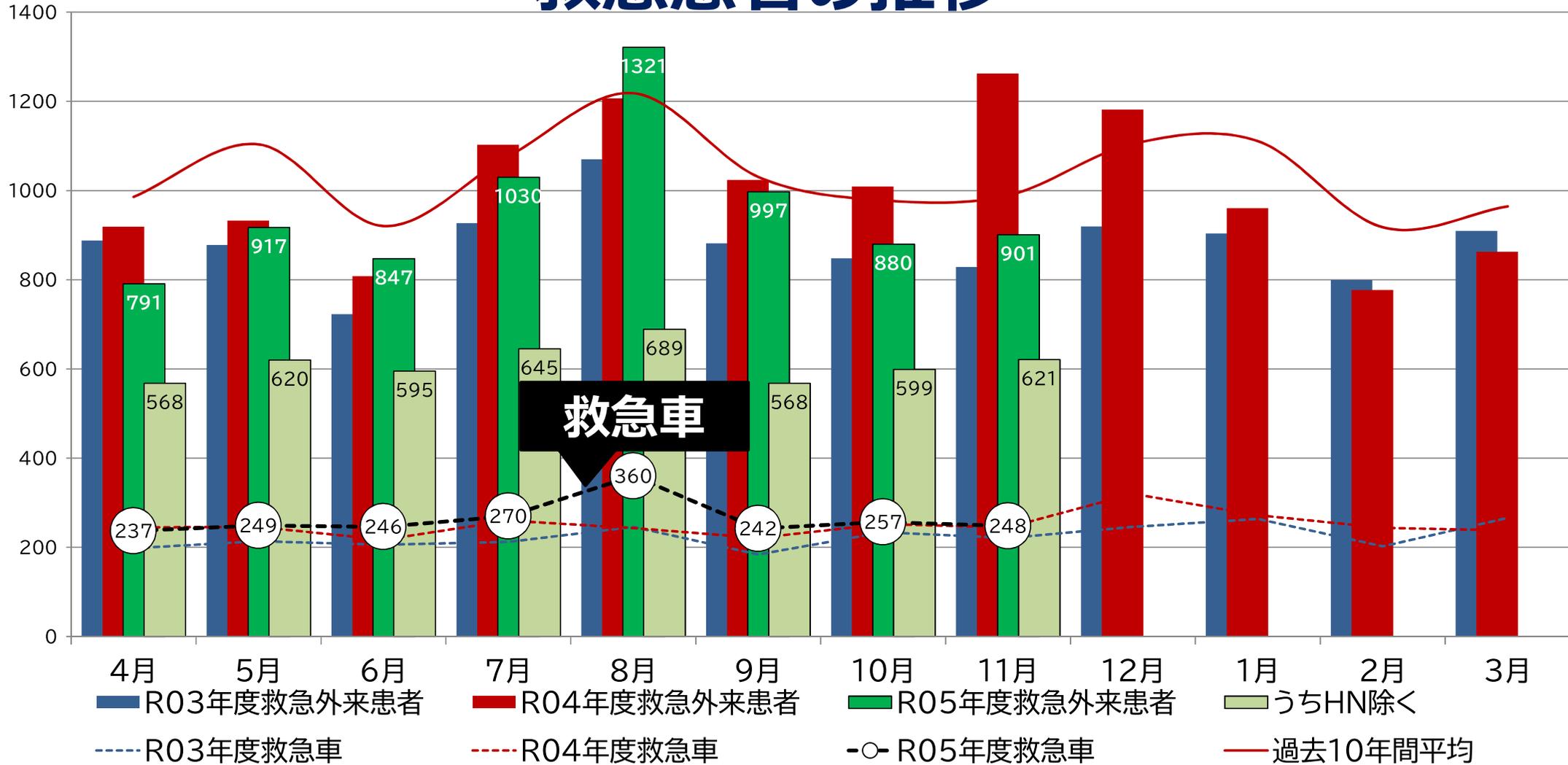
100,803千円

**経常損益でも大幅改善しています**

# 【3】救急

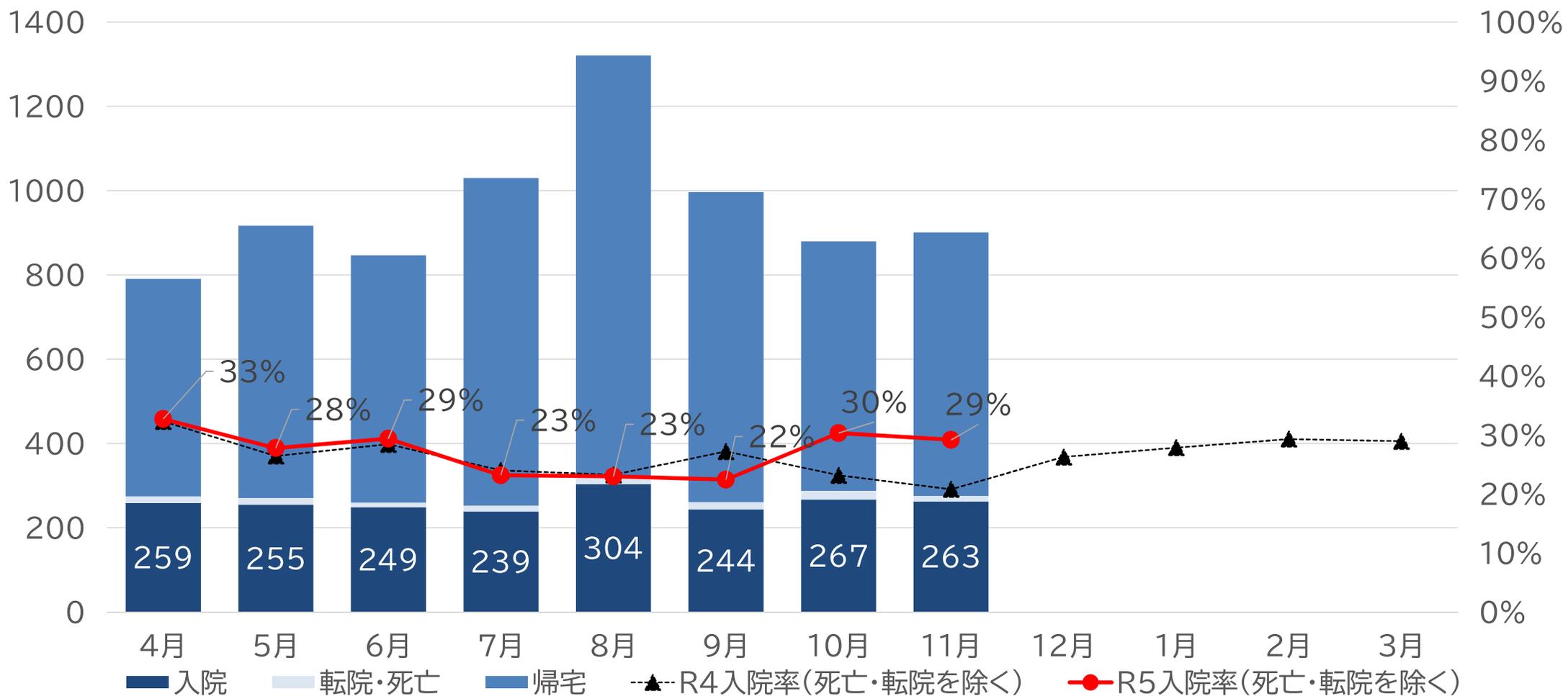


# 救急患者の推移



**コロナ患者の減少に伴い、救急患者数は減少していますが、救急車の台数はむしろ増えています**

# 救急患者転帰



**入院が必要な2次救患者は3割ほどで、あとは軽症の1次救急患者です**

# 救急受診患者数：受付時間別

	R04年度	R05年度												R05年度	R04年度	
	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	平均	
0時	16	16	17	6	23	28	10	22	14					2%	2%	
1時	15	16	17	8	14	21	16	21	21					2%	1%	
2時	13	8	13	8	14	18	17	15	10					1%	1%	
3時	12	13	16	13	14	14	14	8	7					2%	1%	
4時	12	16	8	16	11	15	11	11	13					2%	1%	
5時	10	12	12	10	17	19	10	15	12					2%	1%	
6時	16	14	11	13	15	15	19	11	9					2%	2%	
7時	21	12	14	23	27	43	22	26	27					2%	3%	
8時	91	50	75	70	96	162	137	80	56	}				6%	4%	
9時	70	45	44	30	57	66	47	45	45						6%	7%
10時	60	38	55	42	46	72	54	55	65						5%	7%
11時	50	48	45	47	46	71	68	52	64						6%	5%
12時	76	50	55	39	72	95	58	52	50						6%	6%
13時	52	40	52	53	52	76	52	44	52						5%	5%
14時	49	32	33	40	41	64	46	37	38						4%	5%
15時	44	37	35	36	43	49	38	27	38						5%	4%
16時	44	37	35	43	47	52	44	42	49						5%	5%
17時	68	62	83	63	91	83	75	71	72						8%	7%
18時	63	59	68	68	74	90	60	67	50						7%	7%
19時	57	46	66	61	57	70	54	50	59						6%	7%
20時	52	42	65	54	69	80	43	50	52						5%	6%
21時	41	27	41	43	41	43	40	30	43						3%	5%
22時	48	42	41	44	40	51	38	28	31					5%	4%	
23時	25	29	16	17	23	24	24	21	24					4%	3%	
	1004.1	791	917	847	1030	1321	997	880	901					961	1004	

まんべんなく  
患者が来ます

# 救急受診患者数：患者住所別

【参考】年齢階級別

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前年 同月比 (単月)	前年 同月比 (累計)
岩手県	一関市	旧市内	440	511	495	548	731	532	478	503					▲ 217	▲ 540
		花泉町	105	88	71	141	133	111	89	88					▲ 23	27
		千厩町	23	40	34	29	37	39	38	32					▲ 10	33
		川崎町	19	16	15	15	36	18	23	29					8	7
		大東町	44	47	43	44	78	49	46	45					▲ 23	26
		東山町	34	33	40	39	61	55	35	39					▲ 17	24
		室根町	11	3	7	12	10	12	8	8					3	16
		藤沢町	18	24	17	26	24	20	21	14					▲ 5	▲ 27
	西磐井郡	平泉町	31	55	50	52	53	46	53	39					▲ 33	▲ 47
	奥州市	衣川	4	4	3	4	8	13	8	9					5	15
		江刺		2		2	5	1	1	2					▲ 4	▲ 7
		水沢	7	9	10	13	17	7	8	19					▲ 6	▲ 48
		前沢	8	12	5	7	8	11	13	3					▲ 12	▲ 51
		胆沢	2	2	2	4	3	7	1	4					▲ 2	▲ 11
	他岩手県		10	16	7	16	24	17	15	15					▲ 20	▲ 39
宮城県	栗原市	栗原市	17	18	15	27	25	21	13	14					▲ 18	▲ 7
	登米市	登米市	2	1	4	5	3	6	3	2					▲ 1	▲ 3
	他宮城県		2	12	13	22	13	14	10	15					4	13
他都道府県		14	24	16	24	52	18	17	21					9	37	
総計		791	917	847	1030	1321	997	880	901					▲ 362	▲ 582	

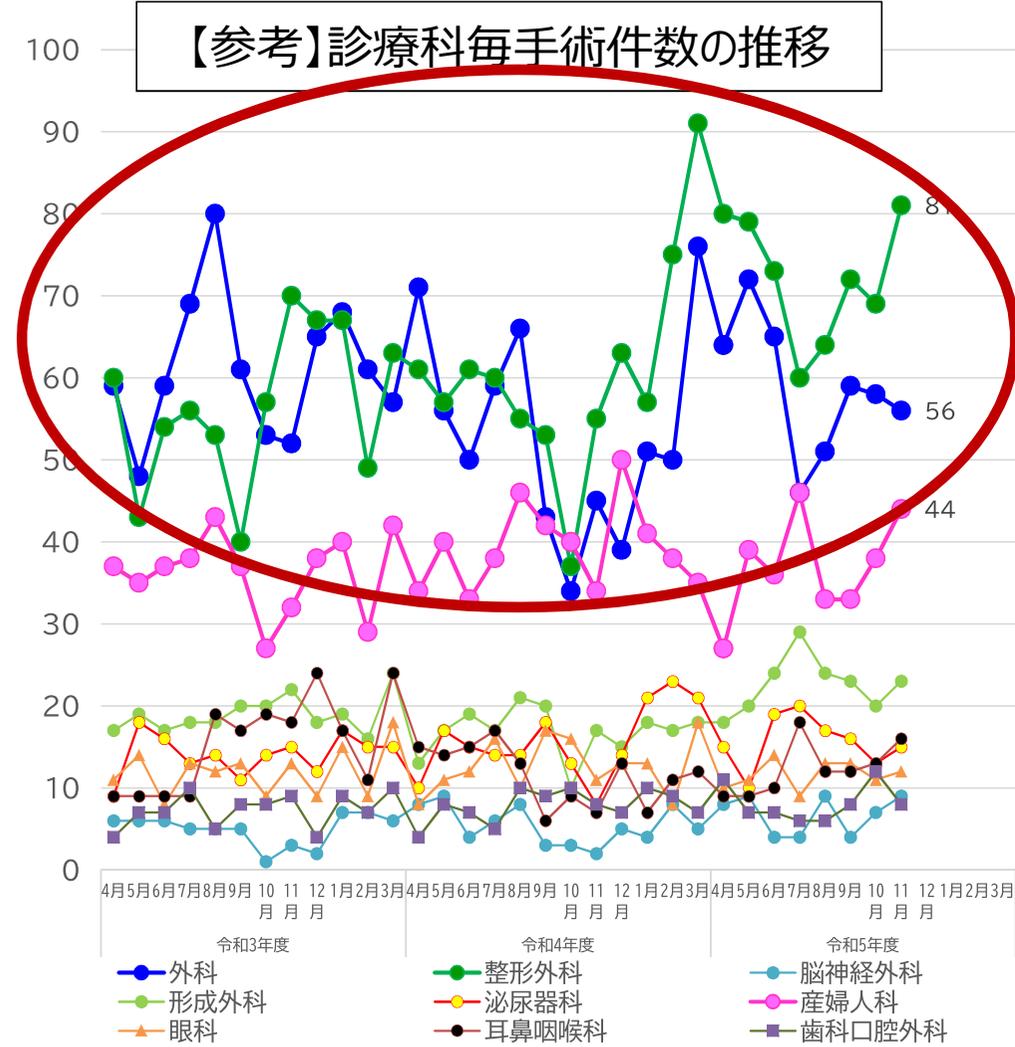
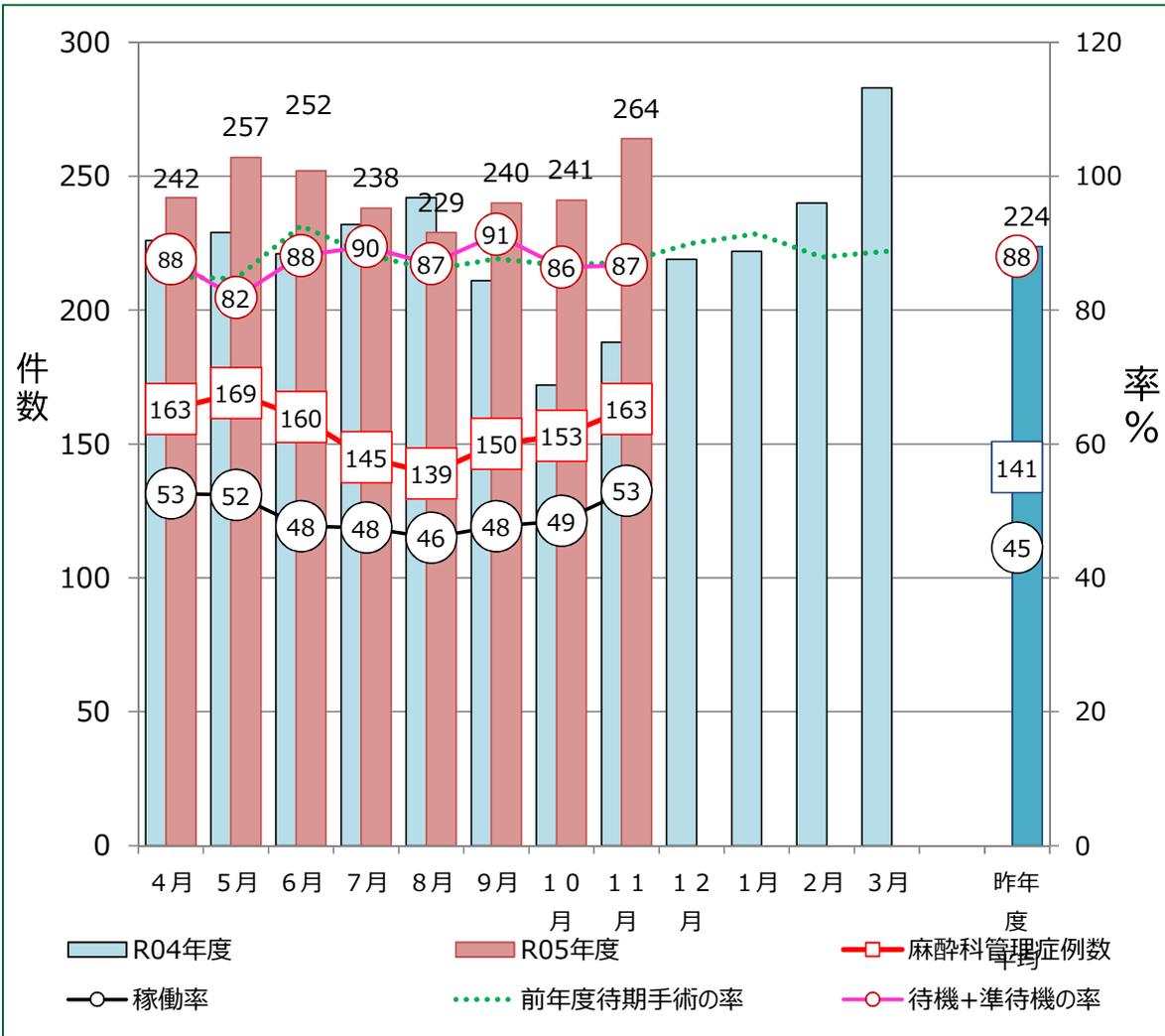
年齢階級	当月	前年 同月比
0-9	150	▲ 79
10-19	47	▲ 50
20-29	72	▲ 25
30-39	63	▲ 97
40-49	61	▲ 68
50-59	47	▲ 41
60-69	75	▲ 20
70-79	195	▲ 9
80-90	144	18
>90	47	9
総計	<b>901</b>	<b>▲ 362</b>

**旧市内、平泉だけでなく、奥州市、宮城県からも患者が来ます**

## 【4】手術や各科の診療状況



# 手術件数・麻酔科管理症例数・稼働率・待機手術の率 前年度比較

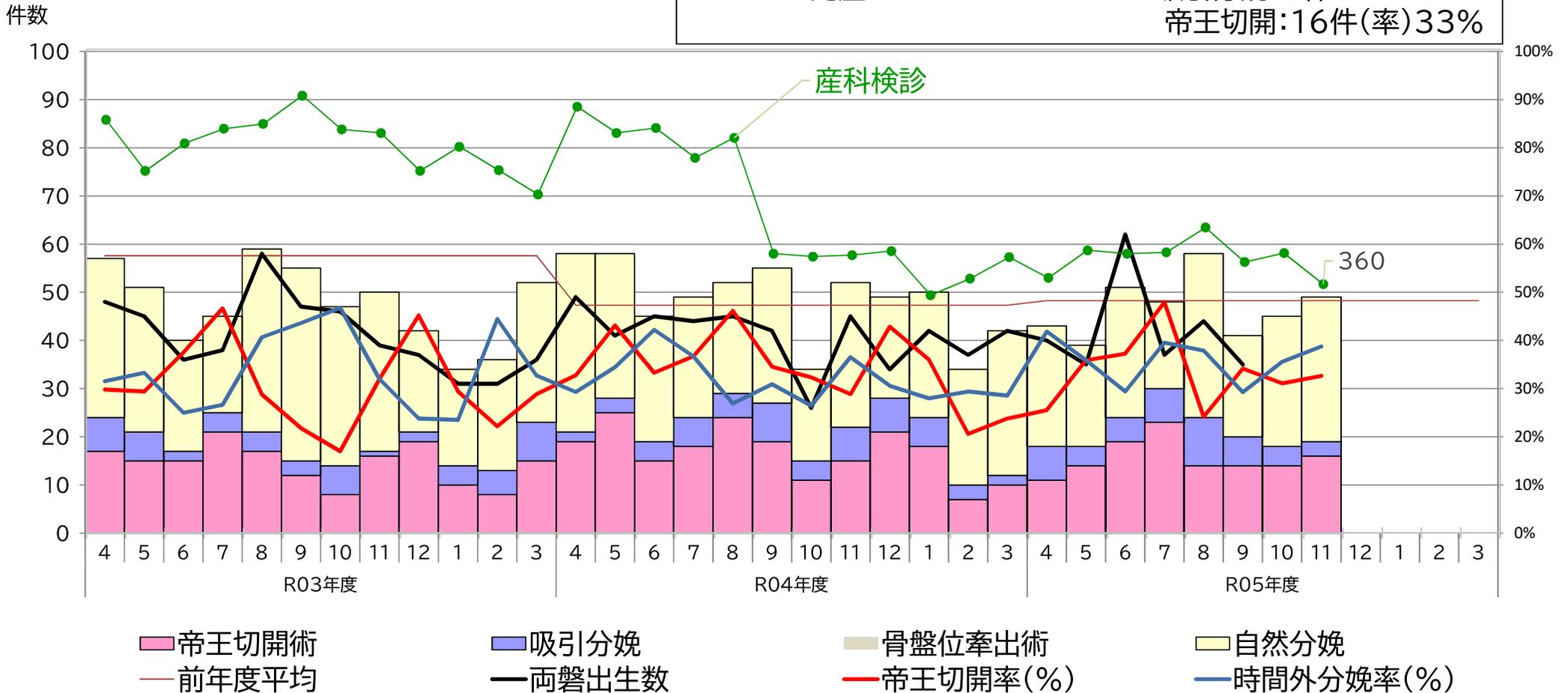


**手術件数が伸びており、理由は整形、外科の手術数増加です。**

# 産婦人科分娩等実績

分娩件数49件(時間外19件)  
死産 1

内訳:自然分娩:30件  
吸引分娩:3件  
帝王切開:16件(率)33%



**検診件数、分娩件数ともに徐々に減っています**

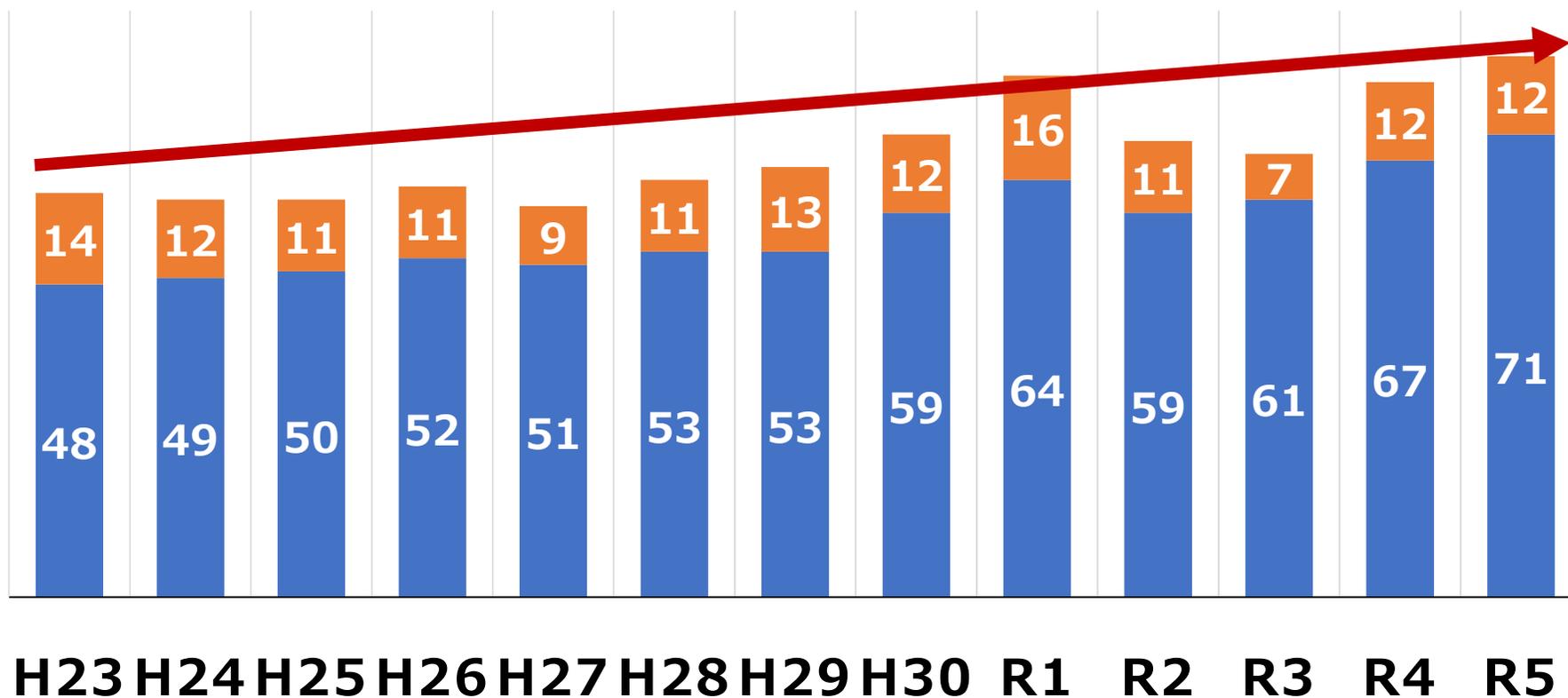
# 【5】医師数について



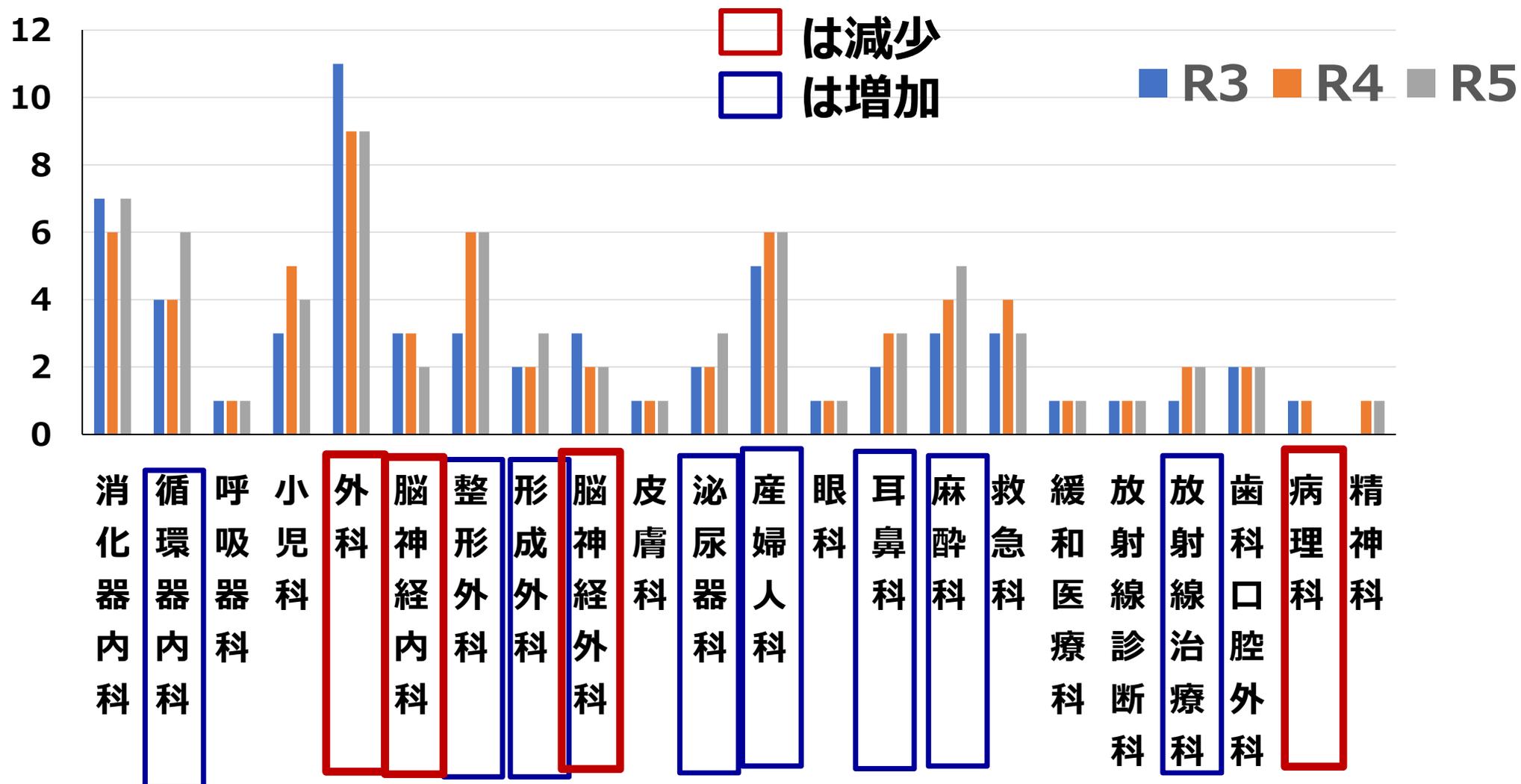
# 当院医師数の推移

当院の医師数は増加している

■ 常勤医師数 ■ 研修医数



# 当院各科医師の増減（最近3年間）



# 当院臨床研修医のマッチ者数と採用研修医数



**マッチ率は悪くありませんが、国試や卒試で落ちる人が増えています**

# 【6】新型コロナ感染症の実績



# 当院新型コロナウイルス入院患者数

	2020/12~2023/12
コロナ入院患者数	705名
① 小児（12歳以下）	138名
② 妊産婦のコロナ患者	29名
③ 重症度が中等症Ⅱ～重症のコロナ患者	177名
④ コロナを合併した重症疾患の患者	57名
⑤ 死者数	34名

## R4.12月の一関の病院の状況

病院		空床状況
西城病院	×	ロックダウン中、受入不可（12/19の週に解除できるかどうか）
一関病院	×	ロックダウン、満床により受入不可
岩手病院	▲	リハ転院の待機やコロナ後の患者受入のためほぼなし
昭和病院	×	満床により空きなし
千厩病院	×	ロックダウン中、受入不可
藤沢病院	×	ロックダウン中、受入不可（現状、最短で12/19の解除）
大東病院	△	数床
磐井病院	▲	満床警報発令、当院でしか診れない重症のみ

**院内クラスターや職員感染のため、ほとんどの病院で入院受け入れ不可で危機的状況**

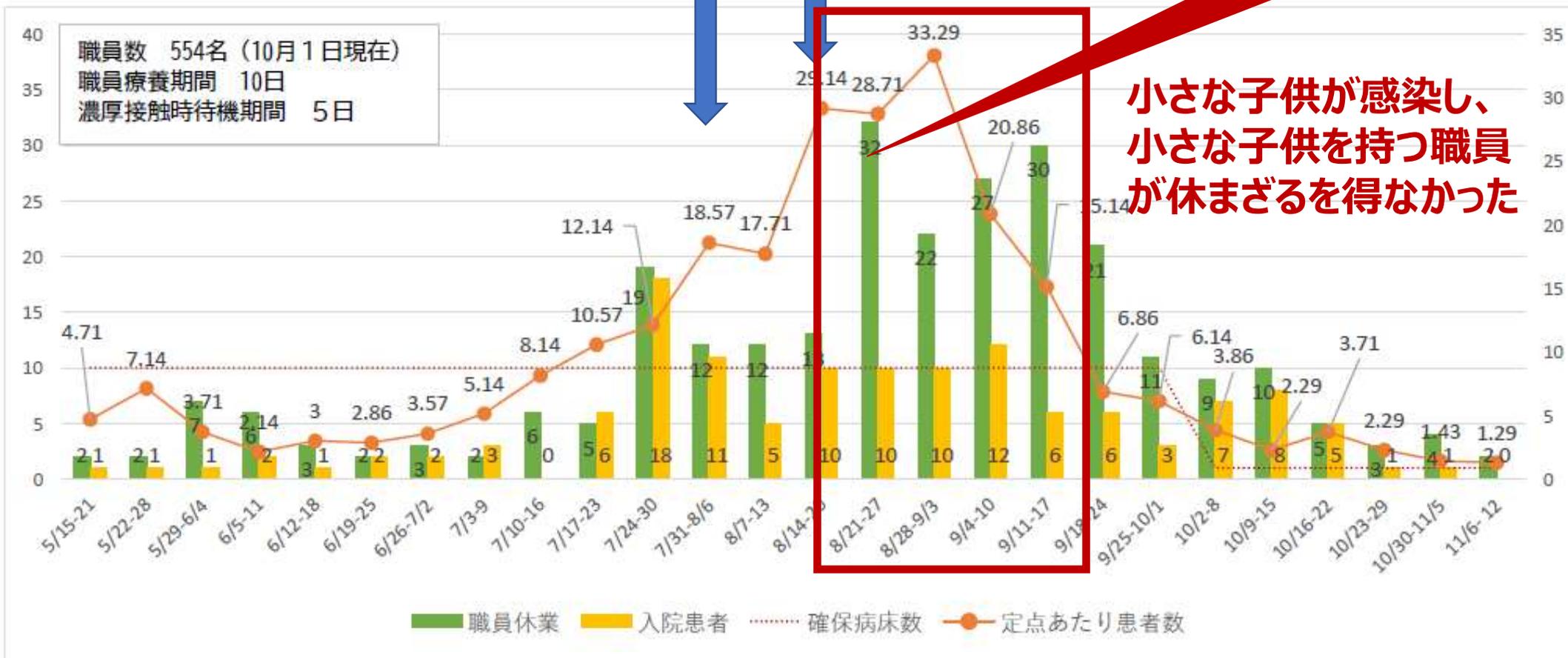
**⇒当院も同様の状態だったが、なんとか救急と重症者の受け入れを施行**

# R5年夏の状況

【磐井】

一関夏祭り  
地ビールフェスティバル

最大1日で40人  
職員が休職



小さな子供が感染し、  
小さな子供を持つ職員  
が休まざるを得なかった

⇒職員の頑張りで、なんとか救急と重症者の受け入れを継続

# R6.1月の状況

## 1/14のG-MIS

医療機関名	入院患者数
<a href="#">岩手県立磐井病院</a>	21
<a href="#">岩手県立千厩病院</a>	7
<a href="#">一関市国民健康保険藤沢病院</a>	0
<a href="#">岩手県立大東病院</a>	0
<a href="#">一関病院</a>	3
<a href="#">岩手県立南光病院</a>	0
<a href="#">国立病院機構岩手病院</a>	45
<a href="#">昭和病院</a>	5
<a href="#">西城病院</a>	0

## 1/18当院3東、4東病棟ロックダウン

コロナクラスター 職員・入院患者のコロナ陽性者数): ←  
50名(うち患者23名・職員27名) ←

2病棟:患者1名(新規0) 職員1名(新規0) 3東:患者11名(新規0) 職員5名(新規0) ←  
4東:患者8名(新規0) 職員8名(新規0) 4西:患者2名(新規0) 職員4名(新規0) ←  
5病棟:患者1名(新規0) 職員1名(新規0) 外来: 職員5名(新規0) ←  
手術室: 職員1名(新規0) ←  
その他: 職員2名(新規0) ←

【ロックダウン病棟】 …新規コロナ陽性者が検出されると1日延長されます。 ←

3東病棟:最短での解除日:1/22 (1/15 新規陽性者あり) ←

4東病棟:最短での解除日:1/23 (1/16 新規陽性者あり) ←

【コロナ関連】 ←

《ロック病室:フルPPE対応》 ←

○ コロナ陽性部屋(院内発症分): ←

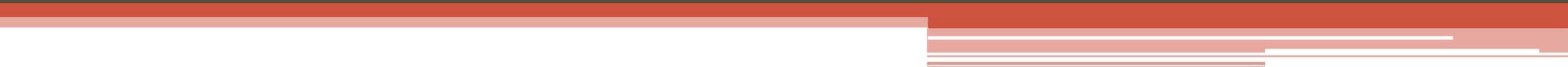
【3東】 ←

・351号室2名【最終解除日:1/20】 ← 1/19(1名)解除予定 ←

・355号室1名【最終解除日:1/21】 ←

なんとか病院ロックダウンだけは避けている

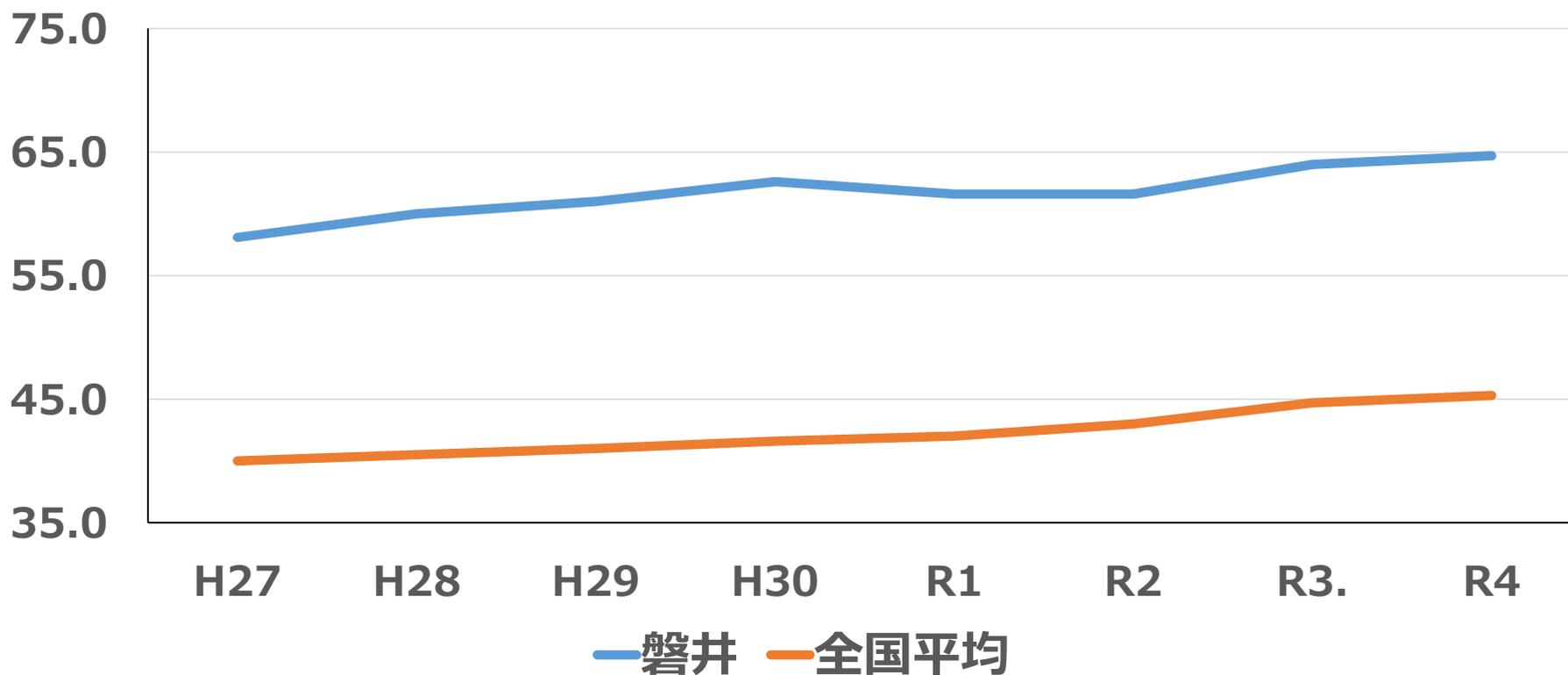
## 2 : 磐井病院が力を入れていること



# 【1】クリニカルパスを中心とした運営



## 当院のクリニカルパス使用率の推移



**現在65%で全国平均よりもかなり上回っている**

# クリニカルパス（以下パス）とは

パスは**医療の設計図**

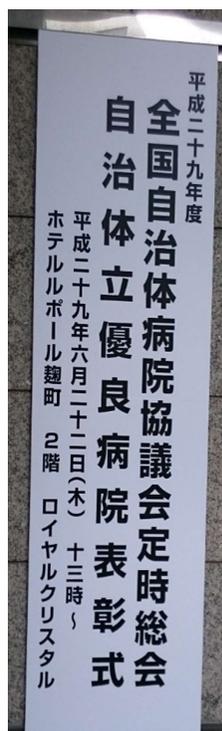
そのパスを見れば、**医療の質と経営の質**がわかります

	術前1日	手術日	術後1日目	術後2日目	術後3日目
点滴	術前輸液	術中輸液	術後輸液 ①	術後輸液 ①	術後輸液 ②
薬	下剤				
検査			血液、生化学検査		血液、生化学検査
食事	低残渣食	絶食	絶食	水分可	流動食

設計図の改善でその病院の医療の質と経営の質が上がります

# 2017年度総務大臣表彰

6年連続黒字、医療の質が高い病院として**総務大臣表彰**の5病院  
に選出（医業収支率104.2%）



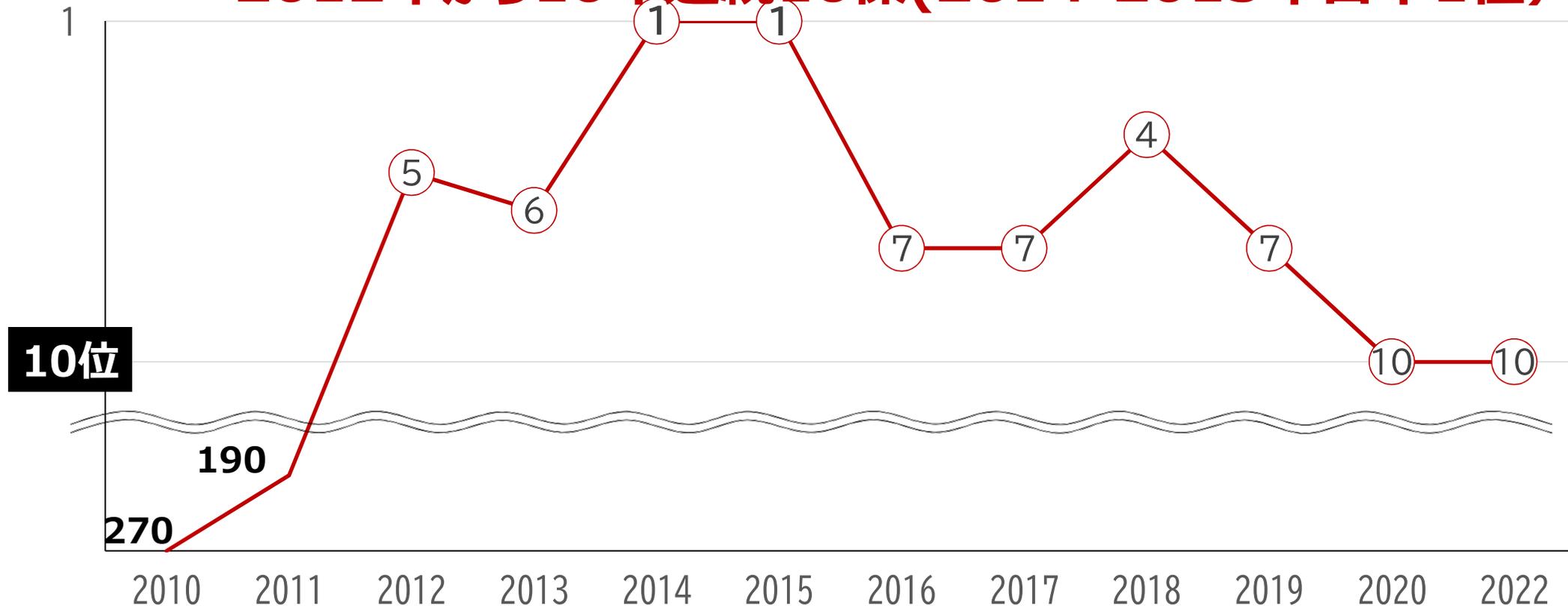
# 2019年2月9日の東洋経済による 自治体病院内部留保金が多い100病院

**黒字** 自治体病院 内部留保が多い100病院 —内部留保（利益剰余金）ランキング（2016年度）—

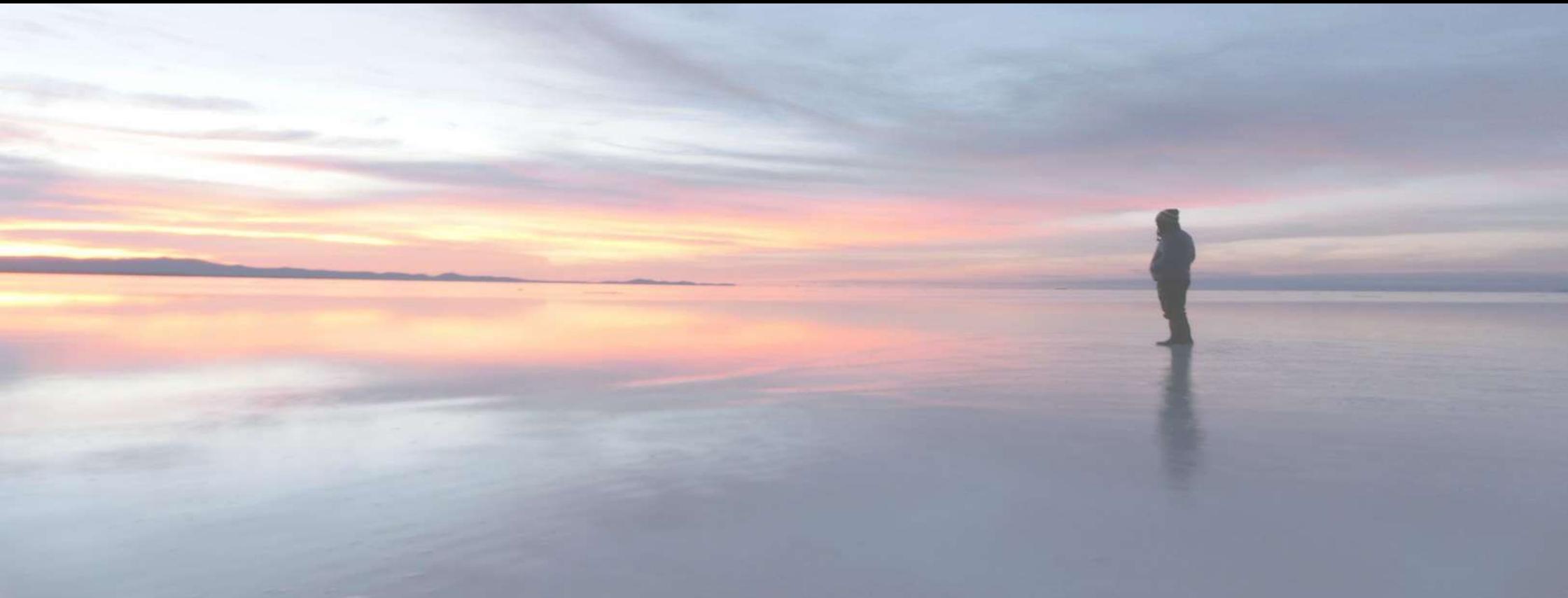
順位	病院名	所在地	利益剰余金 (億円)	総収益 (億円)	経常利益 (億円)	順位	病院名	所在地	利益剰余金 (億円)	総収益 (億円)	経常利益 (億円)
1	大垣市民病院	岐阜県	161.1	317.8	3.9	51	東京都立駒込病院	東京都	7.5	323.8	▲3.4
2	兵庫県立姫路循環器病センター	兵庫県	119.2	121.3	0.7	52	公立穴水総合病院	石川県	7.2	28.0	2.7
3	岩手県立胆沢病院	岩手県	110.6	90.5	0.6	53	つるぎ町立半田病院	徳島県	6.8	25.2	0.2
4	兵庫県立尼崎総合医療センター	兵庫県	79.4	326.4	▲6.4	54	上越地域医療センター病院	新潟県	6.2	25.6	0.8
5	沖縄県立中部病院	沖縄県	74.6	171.1	▲4.1	55	みよし市民病院	愛知県	6.2	27.5	▲2.0
6	岩手県立磐井病院	岩手県	63.8	81.8	2.1	56	霧島市立医師会医療センター	鹿児島県	6.0	47.5	1.0
7	愛媛県立中央病院	愛媛県	63.0	296.2	4.7	57	滋賀県立小児保健医療センター	滋賀県	6.0	31.3	1.1
8	千葉県こども病院	千葉県	61.5	99.5	0.8	58	西予市立野村病院	愛媛県	5.8	15.1	▲0.4
9	鹿児島県立大島病院	鹿児島県	53.1	73.5	1.9	59	三豊市立永康病院	香川県	5.6	13.4	▲0.5
10	新潟県立中央病院	新潟県	48.5	173.5	13.7	60	北杜市立塩川病院	山梨県	5.5	21.1	▲0.4
11	小牧市民病院	愛知県	43.4	202.3	4.4	61	出雲市立総合医療センター	島根県	5.2	31.4	▲0.9
12	公立豊岡病院日高医療センター	兵庫県	41.5	21.3	▲2.0	62	公立宇出津総合病院	石川県	5.1	24.6	1.2
13	兵庫県立がんセンター	兵庫県	40.8	157.5	2.6	63	市立恵那病院	岐阜県	5.1	32.1	1.0
14	公立陶生病院	愛知県	39.9	213.2	▲13.8	64	宮崎県立宮崎病院	宮崎県	5.0	139.6	4.1
15	北海道立子ども総合医療・療育センター	北海道	39.6	58.8	0.3	65	岩手県立東和病院	岩手県	5.0	10.5	0.6
16	千葉県がんセンター	千葉県	33.1	131.8	▲9.8	66	公立羽咋病院	石川県	5.0	35.6	1.7
17	福山市民病院	広島県	29.1	185.3	0.2	67	鱒ヶ沢病院	青森県	4.9	19.5	▲0.4
18	新潟県立がんセンター新潟病院	新潟県	28.0	160.3	8.1	68	公立邑智病院	島根県	4.8	19.9	1.6
19	千葉県救急医療センター	千葉県	26.8	51.8	▲3.7	69	新潟県立妙高病院	新潟県	4.7	11.4	0.3
20	石川県立中央病院	石川県	26.5	207.6	7.7	70	市立御前崎総合病院	静岡県	4.7	47.1	▲0.8
21	岩手県立久慈病院	岩手県	25.2	68.3	▲0.8	71	奈井江町立国民健康保険病院	北海道	4.5	11.0	▲0.3
22	紀南病院	和歌山県	24.8	115.6	2.4	72	かなぎ病院	青森県	4.5	16.3	0.1

# 当院の医療の質を表す病院機能評価係数II (DPC標準病院群)

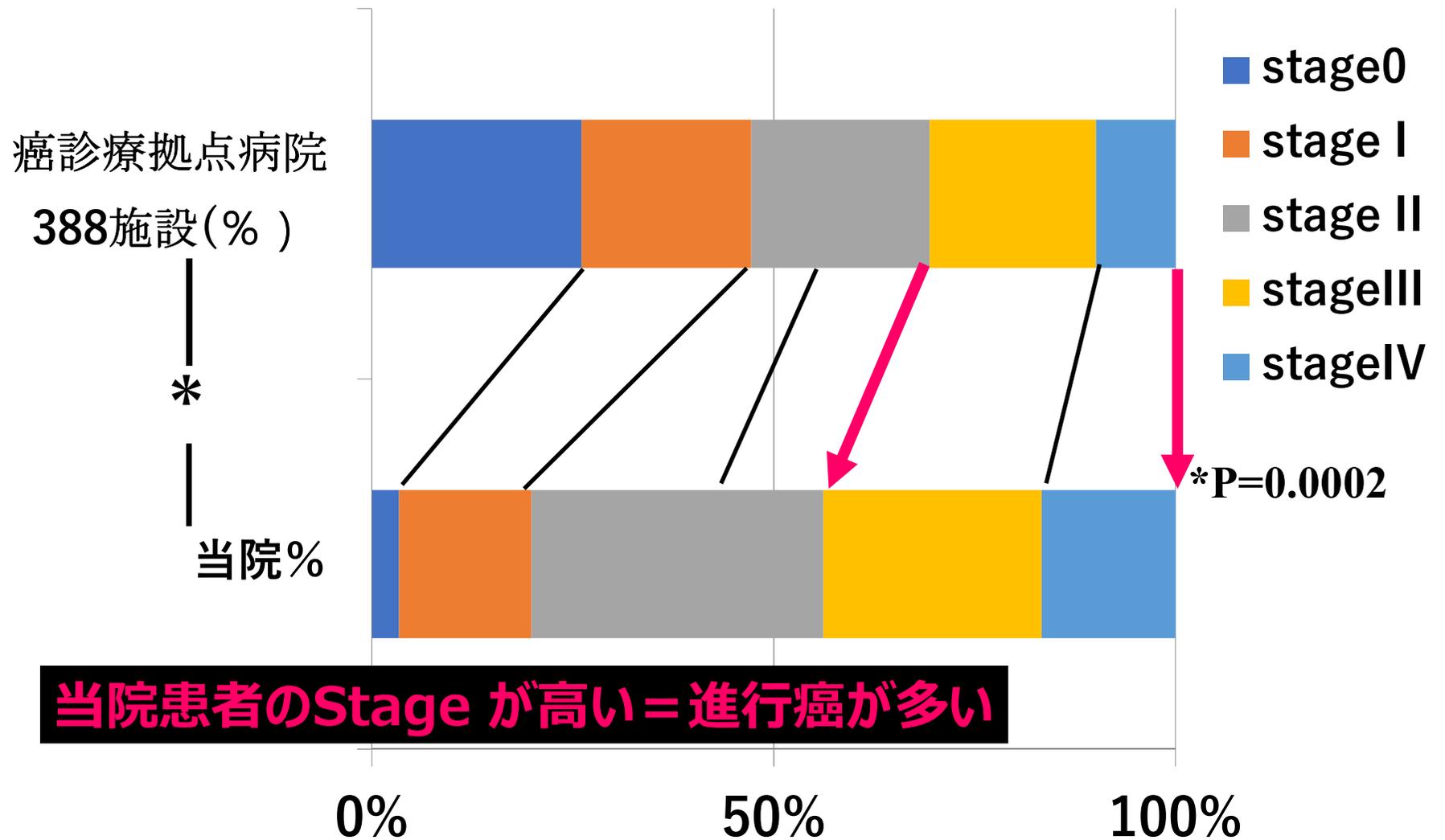
順位 **2012年から10年連続10傑(2014-2015年日本1位)**



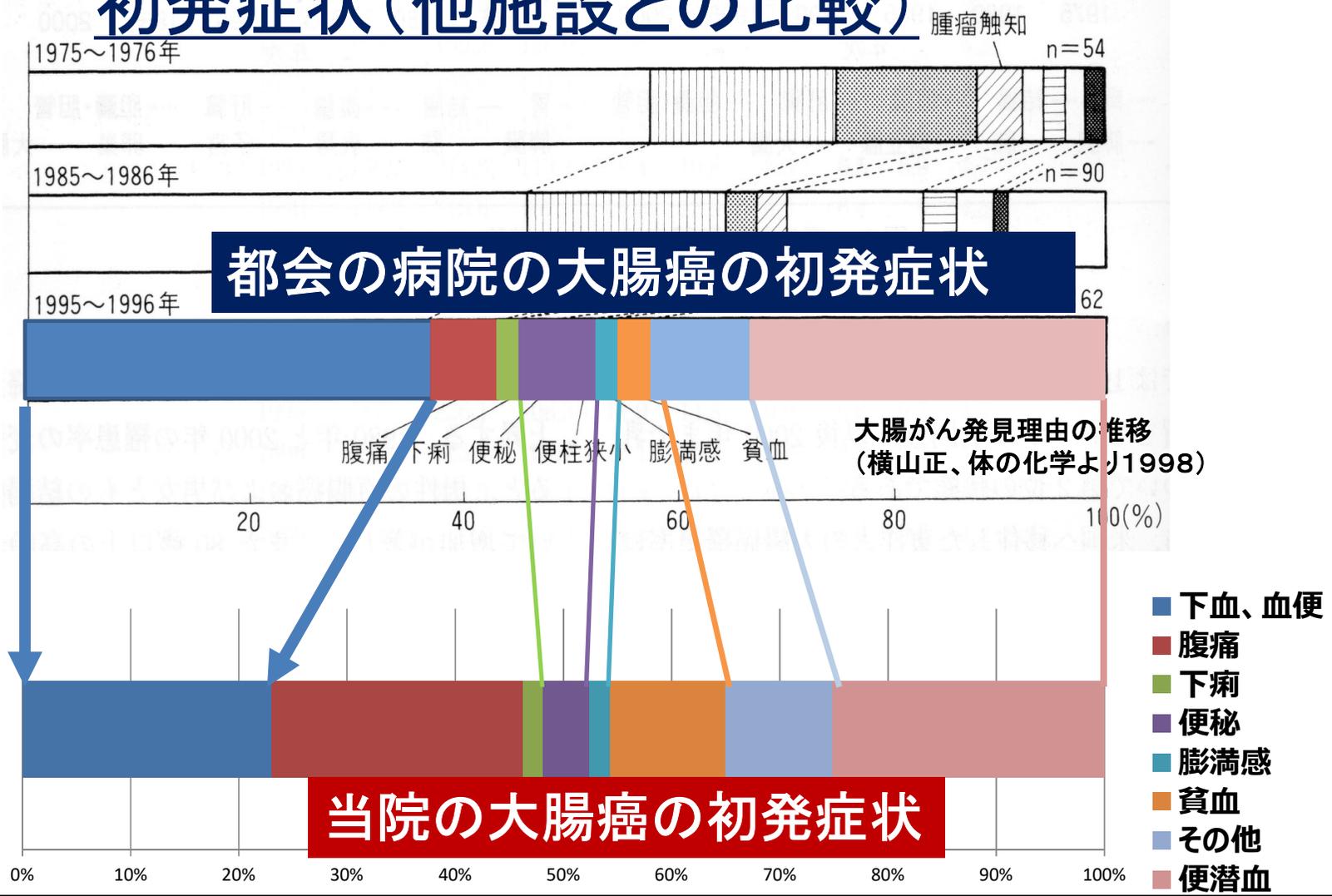
## 【2】進行大腸癌が他地域より多い問題



# 大腸癌病理学Stage：全国と当院の比較



# 初発症状（他施設との比較）



**当院の大腸癌の初発症状**

**初発症状での下血、血便が少ない⇒便を見ていない**

# 一関市水洗トイレエリア

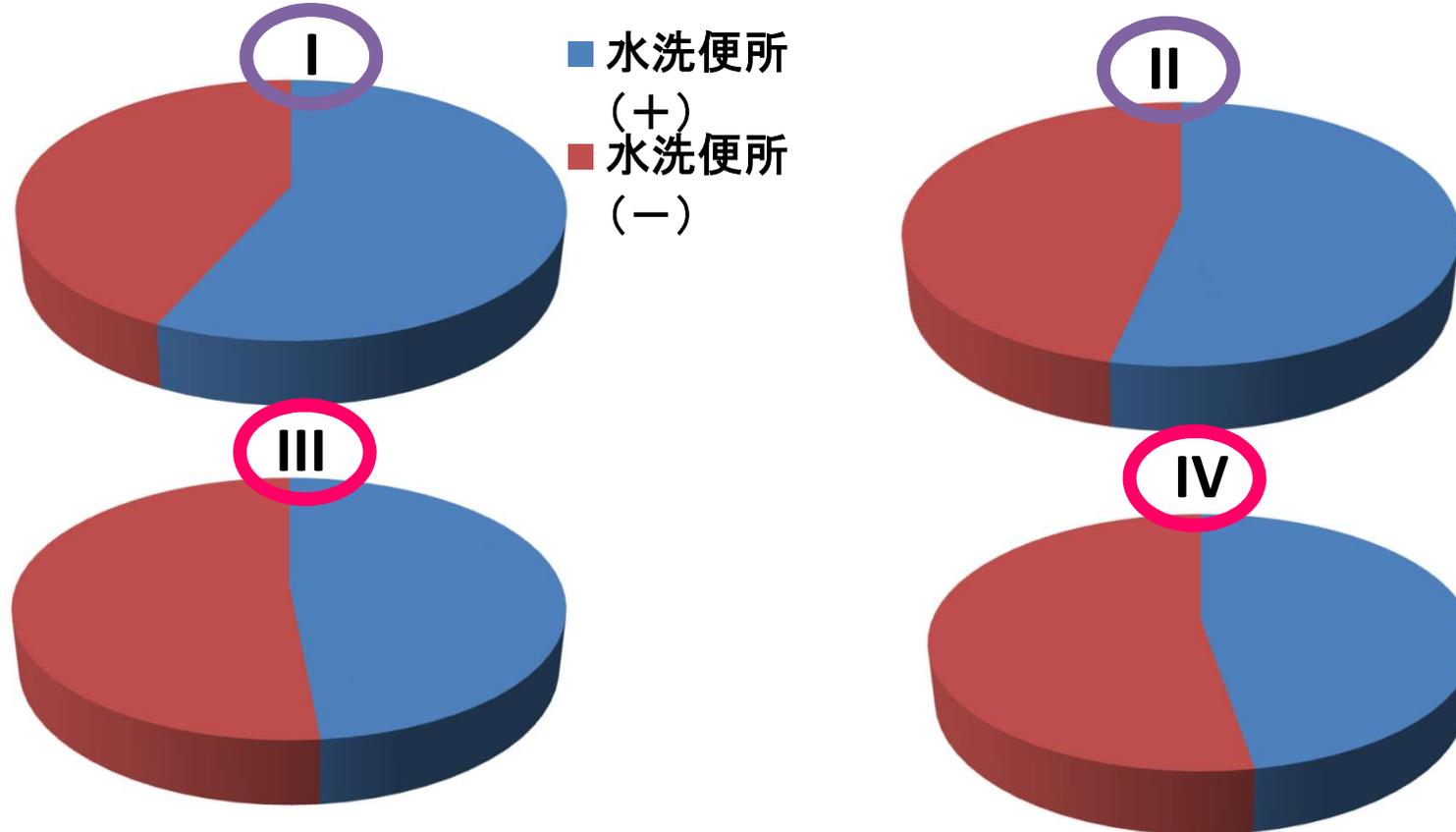
ポットン便所 = 便を見  
れないエリアが多い

水洗便所エリア



# 水洗便所の有無と各Stageの関係

( 検診の便潜血で発見された人を除く)



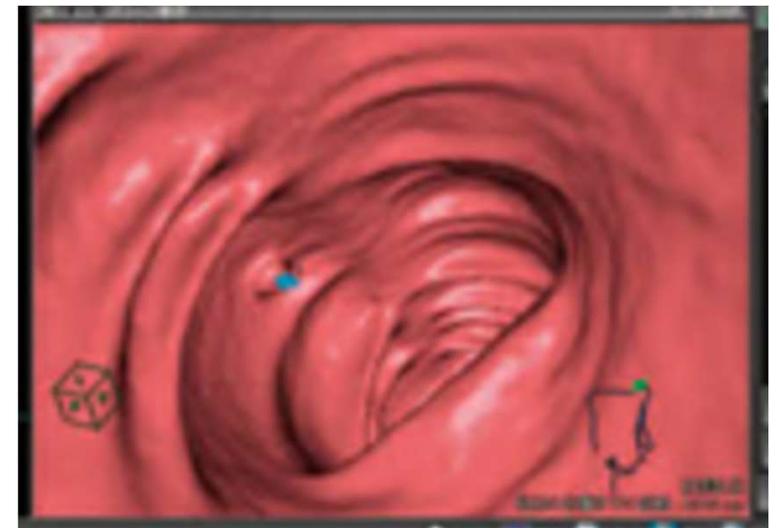
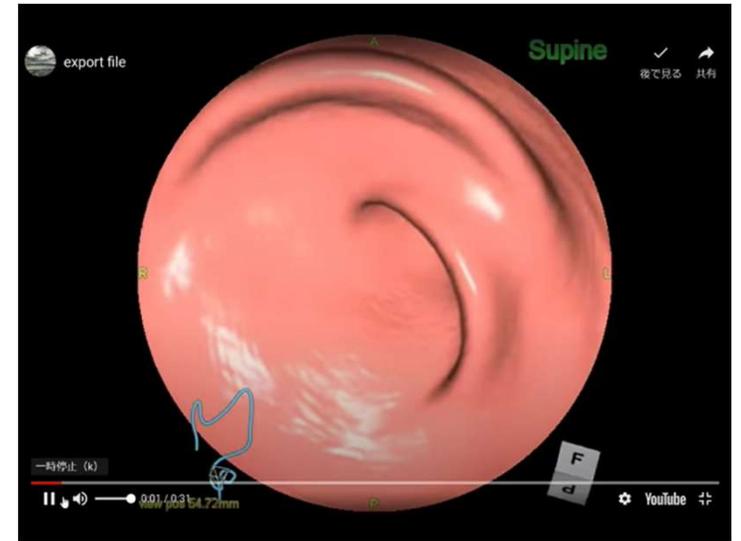
Stageの高い人は、水洗便所の無い地域に多い

→長期間血便、下血に気づかずにいた可能性が高い

# CT colonography (CTで仮想内視鏡像を作成)



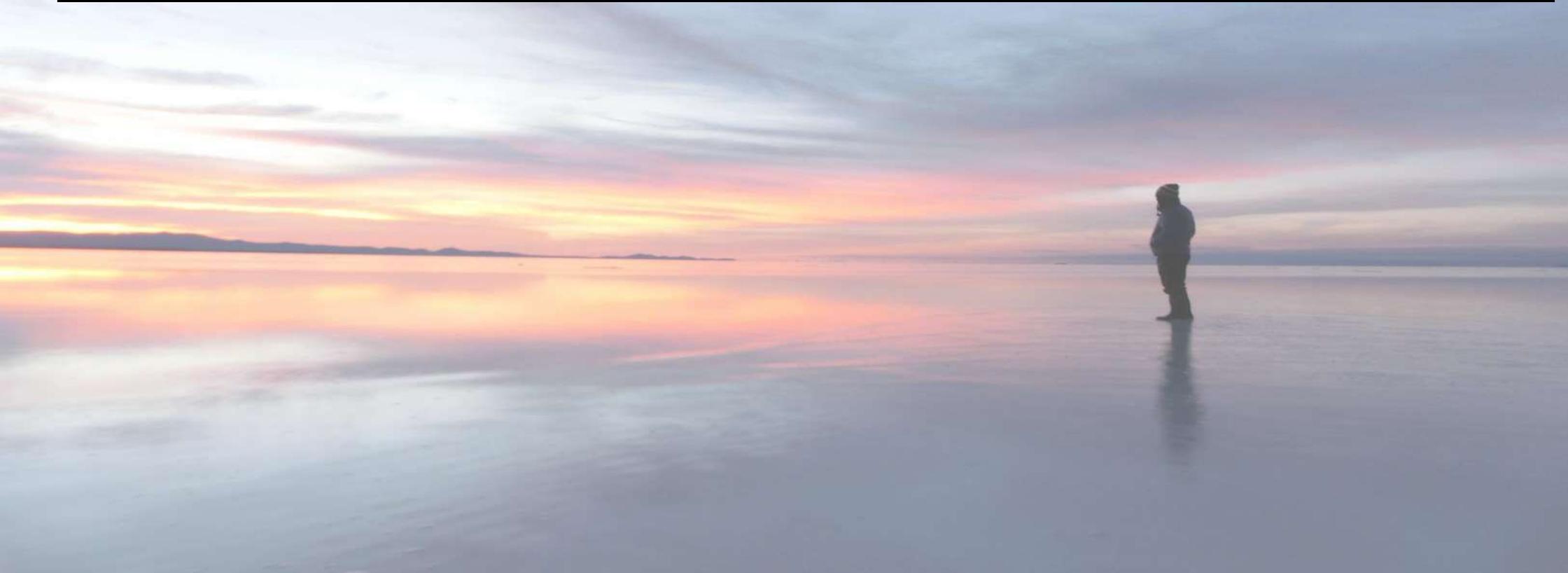
3D画像



痛みで大腸内視鏡ができない人に大変有用

CTを使用した仮想内視鏡

# 【3】血管内治療ができる体制の構築



# 両磐地区で今後増える病気は

くも膜下出血

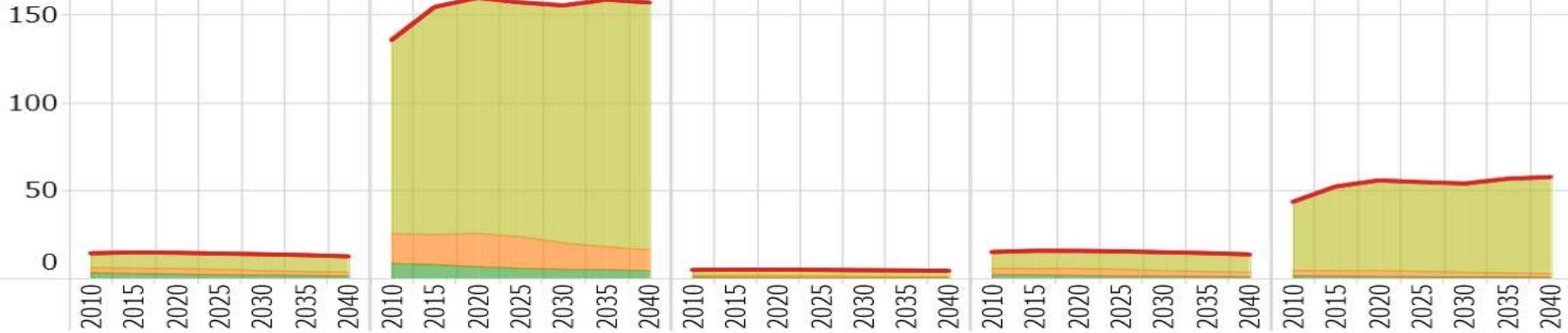
脳梗塞

心筋梗塞

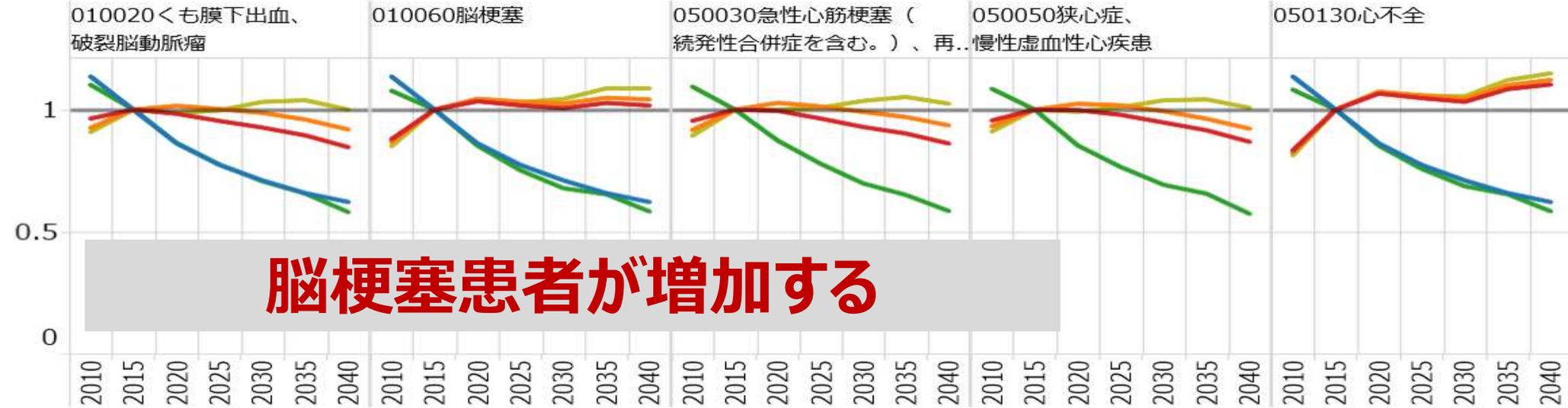
狭心症

心不全

1日入院患者数



変化率(2015年基準)



**脳梗塞患者が増加する**

# 血管内治療

今後、血栓、塞栓を溶解する内科治療だけでなく、**カテーテルで血栓を除去してしまふことが必要**

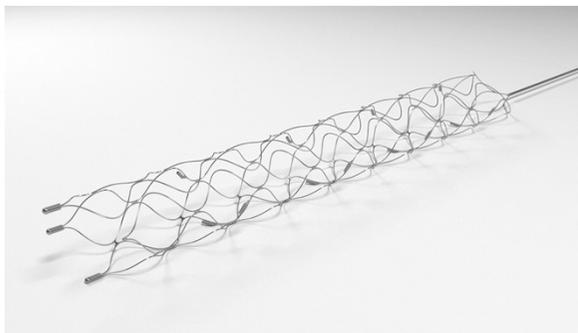
血栓溶解療法  
(静脈注射)



発症から**4.5時間**以内

+

ステント型血栓回収  
デバイス



発症から**7時間**以内

血栓吸引装置



# 脳梗塞発症者の歩いて帰れる割合(血管内治療 vs 内科治療)

	MR CLEAN	ESCAPE	EXTEND-IA	SWIFT PRIME	REVASCAT
介入内容	内科+血管内	内科+血管内	tPA+ステント	tPA+ステント	tPA+ステント
対照群	内科	内科	tPA	tPA	tPA
再開通 (血管内)	75.4%	72.4%	94%	83%	66%
再開通 (内科)	32.9%	31.2%	43%	40%	28.2%
90日後 mRS0-2 (血管内)	32.6%	53%	71%	60%	43.7%
90日後mRS (内科)	19.1%	29.3%	40%	35%	28.2%

**血管内治療を行った人は内科治療に比べ、麻痺が少ない**



## 今後の両磐地区の問題点

現在両磐地区には、血管内治療ができる医師も環境もない

### その対策

血管内治療ができる環境：

血管内治療ができる装置の設置

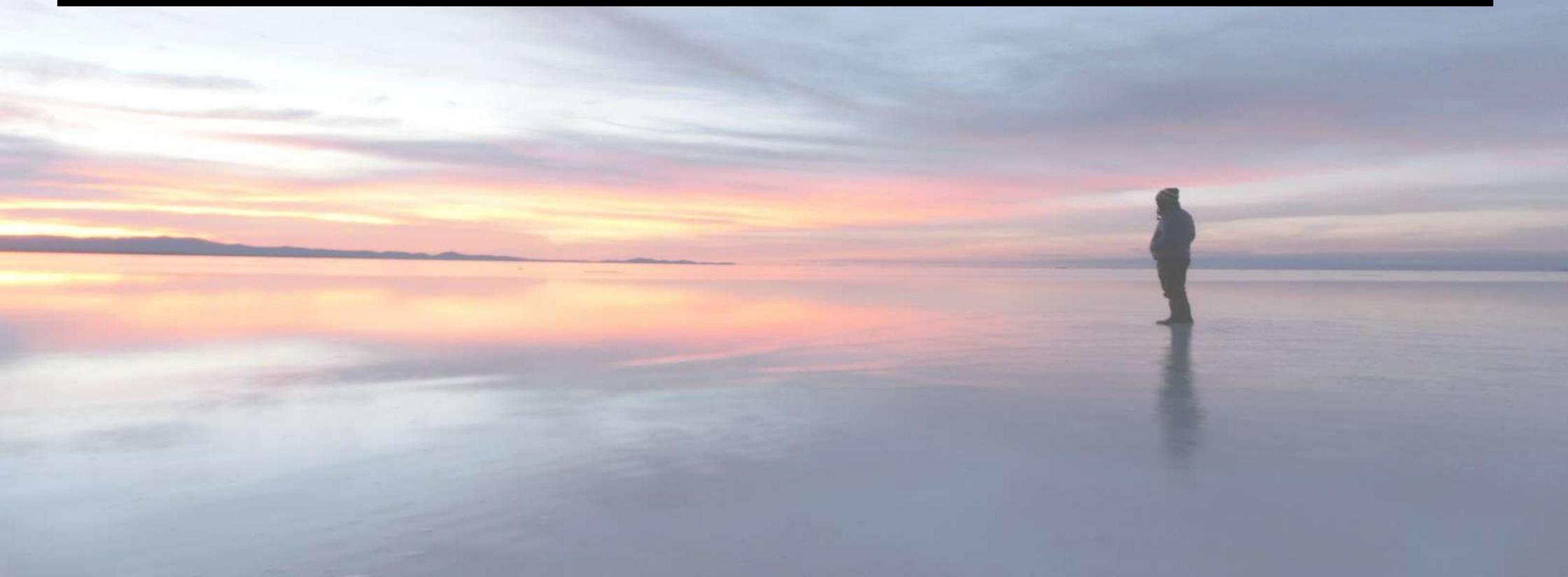
⇒R6.2月完成予定

血管内治療ができる医師：

4年前から東北大脳外科教授に派遣を要望

⇒R6.4月から着任予定

## 【4】医師の働き方改革への対応



# 現在の働き方改革の要点

## 1：働く時間

A: **960時間/年以内**（月100時間未満）

B, 連携B, C-1, C-2: **1860時間/年以内**（月100時間未満）

## 2：勤務間インターバル（休息時間）

(1) 24時間で休息条件を満たせる場合

全ての医師： 24時間以内に**連続9時間休息**

(2) 24時間で休息条件を満たせない場合((1)を満たせない場合)

1) A, B, 連携B, C-2： 46時間以内に**連続18時間休息**

2) C-1： 48時間以内に**連続24時間休息**

(Aは努力義務、B, 連携B, C-1, 2は義務)

# 宿日直許可のない病院医師の労働時間

前提：医師(県病10年目)

宿直時間：17時15分～8時30分 宿直回数：3回/月

日直時間：8時30分～17時15分 日直回数：1回/月

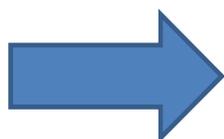
	宿日直許可有	宿日直許可無（時間外）
宿直	実働時間のみ	15時間15分
日直	実働時間のみ	8時間00分

1年間宿直許可のない日宿直を行うと

月3回の宿直：15時間15分 × 3回 × 12か月 = 549時間/年の時間外労働

月1回の日直：8時間 × 1回 × 12か月 = 96時間/年の時間外労働

960 - 549 - 96 = 315時間/年 ⇒ **1時間未満/日の超勤しかできない**

 これでは**通常の診療ができなくなる**ので、**宿日直許可取得が必要**

# 宿日直許可申請結果

⇒結果

宿直2人（月3回）

日直3人（月1回）

で昨年度、宿日直許可がおりました。

## 宿日直許可基準 **寝当直以外は当直として認めない**

労働基準法施行規則第23条（S22.厚生省令第23号）

以下のもののみ宿日直の許可を与える

1：以下のものをすべて満たし、**宿直中は十分な睡眠をとれる**

1) 通常の勤務時間からの完全な解放

2) 一般の宿日直業務（**電話対応**など）

3) 特殊の措置を必要としない軽度の又は短時間の業務に限る

2：以下のものを行わない

宿日直中に通常の勤務時間と同態様の業務に従事すること

3：注意

来院する患者数や来院する急病患者の発生率からみて、宿日直中に通常の勤務時間と同態様の業務に従事した場合は、**宿日直の許可を与えることができない**→病院で入院が取れなくなる

**6時間以上の睡眠が推奨**

# 救急病院で許可を受けた例

	形態	救急対応時間	救急対応頻度	院内業務時間	院内業務頻度
1	1次救急病院			合計45分	6/月
2	救急病院	2次輪番日：2H、 以外：1H	7/月	1件1時間	3/月
3	3次救急病院	25-40分/件	2/日	20-30分	
4	2次救急病院	30未満/件	宿直0.6/日、日直1.3/日	30分未満/件	宿直0.9/日、 日直1.5/日
5	2次救急病院	10-15分/件	院内業務と合計で宿直56日/89日 (のべ100人)、日直10日/12日 (のべ25人)	5-10分/件	

## 許可事例

- 1：件数は**1日1-2件**ぐらい
- 2：1件の対応時間も**10-60分**ぐらい

# 当院の救急受診患者数：受付時間別

	R04年度	R05年度												R05年度	R04年度	
	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	平均	
0時	16	16	17	6	23	28	10	22	14					2%	2%	
1時	15	16	17	8	14	21	16	21	21					2%	1%	
2時	13	8	13	8	14	18	17	15	10					1%	1%	
3時	12	13	16	13	14	14	14	8	7					2%	1%	
4時	12	16	8	16	11	15	11	11	13					2%	1%	
5時	10	12	12	10	17	19	10	15	12					2%	1%	
6時	16	14	11	13	15	15	19	11	9					2%	2%	
7時	21	12	14	23	27	43	22	26	27					2%	3%	
8時	91	50	75	70	96	162	137	80	56	}				6%	4%	
9時	70	45	44	30	57	66	47	45	45						6%	7%
10時	60	38	55	42	46	72	54	55	65						5%	7%
11時	50	48	45	47	46	71	68	52	64						6%	5%
12時	76	50	55	39	72	95	58	52	50						6%	6%
13時	52	40	52	53	52	76	52	44	52						5%	5%
14時	49	32	33	40	41	64	46	37	38						4%	5%
15時	44	37	35	36	43	49	38	27	38						5%	4%
16時	44	37	35	43	47	52	44	42	49						5%	5%
17時	68	62	83	63	91	83	75	71	72						8%	7%
18時	63	59	68	68	74	90	60	67	50						7%	7%
19時	57	46	66	61	57	70	54	50	59						6%	7%
20時	52	42	65	54	69	80	43	50	52						5%	6%
21時	41	27	41	43	41	43	40	30	43						3%	5%
22時	48	42	41	44	40	51	38	28	31					5%	4%	
23時	25	29	16	17	23	24	24	21	24					4%	3%	
	1004.1	791	917	847	1030	1321	997	880	901					961	1004	

まんべんなく  
患者が来ます

# なぜ磐井病院に1次も2次も3次も救急患者が来るのか

## 問題があるのは一関の1次救急分担

曜日	月	火	水	木	金	土	日・祭日
0:00-8:30							
8:30-12:00							9:00から
12:00-18:00							17:00まで
18:00-20:00							
20:00-24:00							



開業医（、勤務医）営業時間



医師会当番医



誰が診るかが定まっておらず、多くが磐井病院や2次救急病院受診

平日20:00-8:30、土、日はさらにそれ以上の時間帯に誰が1次救急を診るかが決まっていない

# 今後の展望

1 : このまま今まで通りの宿日直を続けるとその許可基準を満たしているとはいえず、**今後労基が入って宿日直許可取り消し**になる可能性があります。

2 : 以上から、**1次救急を診る医師が決まっていない時間帯に対する体制の構築**を市が中心に行ってゆく**必要性**があると思います



ご清聴ありがとうございました。

金色堂